

とどろき おおの はら ち く

# 轟・大野原地区コミュニティ

向夏の候、蒸し暑い日々が続いておりますが、皆様体調を崩されたりしていませんか。しょうか。

7月18日～19日にかけては、低気圧と偏西風の影響で佐賀県も暴風雨となりました。線状降水帯のデータが精密になったのか、〇〇区という表現で避難指示が出たこともあり、該当する区の区長さんは地元に残り状況を見守っておられたとのこと、大変お疲れ様でした。大きな被害がなく何よりでした。

一方、昨年8月の豪雨で崩壊した中不動区・下不動区の共有水路が7月初め、ついに復旧しました。(左写真)「ポンプの揚水とは比べ物にならない」豊富な水量が戻ってきたと中不動区長さんより嬉しい報告がありました。この1年間、住民の皆様でコツコツと周辺の砂利をかき出すなどご苦労されました。この水の行く先々が潤います様に願っております。



今月のお花

## 芙蓉 (ふよう)

花言葉：繊細な美、しとやかな恋人

中国中部を原産とするアオイ科の落葉低木で、ハイビスカスの仲間。繊細な見た目ですが厳しい環境にも強く、高速道路の街路樹にも選ばれています。直径10cm程の大輪は1日でしぼみますが、7～10月の間次々と開花し、しとやかな花姿で長く目を楽しませてくれます。(下不動区の川原様から株分けして頂きました)

轟小3年生

## 自転車安全運転教室 7月16日(土)



毎年恒例、轟小の3年生が自転車運転免許を取得する教室が開かれました。前日の雨のため体育館に設けられたコースには小型の信号機や障害物が設置され、まず鹿島警察署・内田様より自転車点検の手順「ぶたはしゃべる」の説明があり、校区内にお住まいの交通安全指導員さんや保護者・市総務課職員の方が見守る中、子供達は障害物を除ける時には後方を確認するなどの動作に気をつけながらマイ自転車を運転しました。また佐賀県警機動隊からはホンダCB1300に乗った白バイ隊員さんが到着。フル装備のヘルメットや、謎多きボックスの中を子供達に見せてくれました。県内一周駅伝の先導も務められたそうです。粋な計らいで子供達の安全を考えてくれる総務課の方々、ご指導に当たって下さった地域の皆様、いつもありがとうございます。

大野原小中学校 6月20日(月)

## 交通安全教室



大野原小中学校には昨年白バイが来たので、今年は自転車シミュレーターが導入されました。小中学生30名が、自転車を町の中で運転する機械に挑戦。「自転車は持っているけどほとんど乗らないです」(6年生男子)という環境で、信号を渡る時や、建物の陰から出る場面での危険などを体験する中、友達を応援する声が上がった微笑ましい会場となりました。





青少年育成部会  
6月28日(火)

## 轟小・しいば川 稚魚放流体験



晴天の6月末午後、とても蒸し暑い中、今年も轟小前のしいば川に子供達が賑やかに集まってくれました。轟小1年生28名、大野原小1・2年生4名、岩屋保育園年長組10名と先生方、青少年育成部会員様、ご近所サポーター様、市役所農業政策課職員のお二人です。今年ほうなぎを手で触ったり上手に持てる子が多かったです。感心・感心！他にもミナ貝を獲ったりと、やはり子供達は好奇心旺盛でした。うなぎもカニも子供達も元気に成長して嬉野に根付いて頂けたら嬉しいです。

健康福祉部会  
6月23日(木)

## スマイル健康体操&介護で慌てないためのお話



白浜陽一様

6月23日午後、不動ふれあい体育館の和室にて健康体操(指導:古賀安子様、助手:藤森安子様)を開催しました。今回はコラボ企画として、身近な人に介護が必要になったらどうする?という内容で嬉野市西部地域包括支援センター長の白浜陽一様より、体操前に30分間の講話をして頂きました。4月から赴任したばかりのセンター長さんに漠然とした講話依頼をしてしまったのですが、さすが介護のプロ。「こんな機会がもっとほしい」「今日のやり取りを市に伝えてほしい」などの意見で時間一杯の質疑応答となりました。メモ状態の一部ですが、ためになる内容をお知らせします。

身近な人が・しゃべらなくなった、転倒して入・退院後動きたがらなくなった等の小さな変化も、かかりつけ医や年1回の健診時にお医者さんに話しておく。介護が必要になった場合、地域包括支援センターに相談する。支援のあり方は十人十色。センターはいきなり支援を決定するのではなく家族と本人が中心で、センターは会って提案をし、その補助をする。施設に入れば月10万円は必要になる(食費・おむつ・部屋等)。年金、預貯金の金額を把握しておく。支援・介護どの段階でも相談先はある。今からできること①かかりつけ医を決めておく ②お薬手帳を持つ(緊急搬送時役立つ) ③月10万円あるか お金の把握 ④ペットの飼い始めは70歳まで(ペット寿命を15年とみて)。介護施設へのペット同伴ほぼ不可。最悪、保健所での殺処分もしてもらえない。・・・家族にお世話になる日が来る、若い人・おい・めいとも仲良くしておく、家族に「ありがとう」という気持ちで。介護する側・介護は隠すことではない。近所の人が見つけてくれたり、1人で何とかして要介護者を完全な状態にしようと思わない。共倒れは×、自身が楽になること。「若い人にこそ介護や認知症の講話を聞いてもらいたいと思います」とのことでした。

お知らせ「ラジオ工作&電波教室」8/6(土)は**感染急拡大のため11月に延期です。** / 8月は朝市夏季休業です。